

【児童へのお話】

今週で9月が終わり、週末土曜日はいよいよ運動会です。

ここで、運動会のダンスや踊りなどについて、校長先生から皆さんにアドバイスです。それは、上手に動くことと同じくらい、「ピタッと止まること」が大事だ、ということです。動きと動きの間でピタッと止まることを大切にすることで、皆さんの表現のレベルが10は上がります。ビシッとそろった極めのポーズは、とてもカッコイイですよ。頑張ってみてください。

さて今日は、「10月と日本の伝統」についてお話しします。

10月は別名、神様のいない月と書いて、『神無月(かんなづき)』と呼ばれています。なぜこのように呼ばれているかというと、島根県にある出雲大社という、大国主命(おおくにぬしのみこと)という神様を奉っている神社に日本中の神様が集まって、会議をする月だとされているからです。会議では、人々の縁や寿命について、翌年の天候について、お米やお酒の出来具合についてなど、集まった神様によってたくさんのお話が話し合われると言われています。ちなみに、出雲大社に奉られている大国主命は、縁結びの御利益があり、いなばの白うさぎを助けてあげた神様としても有名です。また、日本中の神様全員が出雲大社に行ってしまうと、残された人々が困るので、その間、お留守番をしてくれると言われる神様が、有名な恵比寿様です。日本には昔から伝わるお話や伝統行事がたくさんありますので、興味があれば調べてみてください。

10月には、番町大運動会、2年生と3年生の校外学習、5年生の2泊3日の孀恋自然体験教室、漢字検定などが予定されています。じっくりと学習や生活に取り組める、気持ちよい時期です。今年度残り半分となった学校生活での心がまえと態度を改めて確認し、皆が気持ちよく成長できる月にしてください。まずは土曜日の運動会、校長先生はとっても楽しみにしています。頑張りましょう。今日は「10月と日本の伝統」について、お話ししました。

【本講話について】

いよいよ今週末は運動会です。各学年ともに熱のこもった指導と練習が続いています。私は基本的には、運動会はそれぞれの子どもが自分の頑張りたい目標を設定する「マイスタート・マイゴール」でよいと思っています。自分がどれだけ頑張れたか、自分が評価して成長を実感することができるよい機会です。ご家庭でもぜひ、お子さんに「運動会、何を頑張りたい?」と聞いていただき、楽しみにしていることを伝えてあげてください。きっと張り切ると思います。

令和4年度の教育活動も残すところあと半分となります。改めて学校での学習や生活について振り返り、落ち着いた学校生活となるよう、子どもたちと確認しながら進めていきます。ご協力ください。